

総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会小委員会の設置について

分科会等名：持続可能な開発目標達成のための洋上風力発電開発検討小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	総合工学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	<p>欧米など諸外国においては、洋上風力発電の開発が進み、再生可能エネルギーの主翼を担う存在となっている。日本においても洋上風力発電の研究が進められている。</p> <p>事業化を進めるため、国は2019年再エネ海域利用法を施行し、気象、海象などの自然現象、港湾などの保全、漁業保全、海洋環境の保全などの条件を規定している。</p> <p>日本のような活動縁辺域は、急峻な海底地形で大陸棚が狭く、開発地域は限定される。さらに、火山噴火、地震、津波などの大規模災害の再来周期は、50年～100年とされるが、液状化、泥火山などの沿岸域での海底地質リスクは、観測データが少なく評価できていない。</p> <p>洋上風力発電の持続的な運用には、再エネ海域利用法で規定された要件に加え、海底地質災害のリスク軽減も加味した海底地質リスク評価マニュアルを審議する目的で本小委員会を設置する</p>
4	審議事項	<p>1. 洋上風力発電を含めた再生可能エネルギーのエネルギー収支比と海底地すべりなどの地質災害</p> <p>2. 持続可能な開発目標達成に向けた洋上風力発電開発のための海底地質リスク評価マニュアル作成に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和3年3月25日 ～ 令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期からの継続